

# 御池沼沢ニュースレター

令和7年9月30日 Vol.139

本質的価値を伝え、訪れてみたくなるような植物群落をめざして

## 自然観察・保全体験会 開催

9月20日(土)、御池沼沢植物群落 西部指定地・東部指定地において自然観察・保全体験会を実施しました。途中小雨の降る中でありましたが、湿生植物や昆虫などに興味をむけた多くのみなさまとともに学習を進めることができました。保全種の生育環境を守り、抑制種を管理することの大切さを感じる機会となりました。

参加者が講師の先生の説明を聞いたり質問をしたりして、実りのある自然観察活動を進めることができました。



保全種のヌマガヤが、過剰に増えすぎることによって、他の湿生植物を圧迫（被圧）しないよう見守る必要があること、ハンノキは湿地を陸化させる一方でミドリシジミ（チョウ）の食草でもあるため、一定数は残した方がよいことなどを学びました。

環境保全ボランティアのみなさまにもご協力いただながら、保全にとりくんでいますが、今後動植物の関係や特徴を考慮し、より細やかな意図を持って取り組む必要があると感じました。

西部指定地では現在シラタマホシクサの群落がみられます。ぜひ、東海丘陵要素の植物の一つであるシラタマホシクサの様子を観察いただければと思います。



**10月の活動予定** 午前9時30分からに戻ります。

10月11日(土) 西部指定地 抑制植物駆除  
シラタマホシクサ範囲におけるアキノウナギツカミの除去

10月22日(水) 東部指定地 抑制植物駆除  
セイタカアワダチソウ抜き取り